

三条北ロータリークラブ週報



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会日 2012. 5. 8 累計 No.1221 当年 No.41

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内
TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP:<http://www.sanjo-nrc.org> AD:north@sanjo-nrc.org

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会

国際ロータリー会長:カルヤン・パネルジー
(インド・グジャラート)
地区ガバナー:石本隆太郎 (新潟RC)

三条北RC会長:星野 義男
三条北RC幹事:石川 一昭
三条北RCSAA:丸山 勝

■出席状況

- ・本日の出席:71名中34名
- ・先々週の出席率:71名中61名
85. 92% (前年同期75. 36%)

■本日の行事:「新会員卓話」

■先週のメイクアップ:(敬称略)

- 5月2日三条RCへ 岡田 健
- 7日三条南RCへ 石川勝行
笹原壯玄、高橋彰雄
山上茂夫
- 8日新会員オリエンテーション
渡辺 徹、石川友意
小林繁男

「ロータリーの友5月号」紹介

- 5頁「職業奉仕を語る」
- ②頁「日米文化交流を
支える相互の理解」



会長挨拶:星野義男会長



皆さん、こんにちは。

ゴールデンウィーク後半は晴れるであろうという私の予想に反して、寒い休日になりましたが、皆さんは休日を謳歌することができましたでしょうか? 謳歌と言いましても、様々な業種の方がいらっしゃるの、お仕事を謳歌・余暇を謳歌といったことでしょうか。

しかし、天候だけはどうにもなりません。突如、竜巻も起こります。来週の

三条祭りはお天気に恵まれる事を祈りたいものです。

さて、本日は30代会長就任について別記の通りにご報告がございます。

私と致しましては、今年度の会長としての使命を当初からクラブ皆さんのご協力を以ってこなすことができ、ひとつひとつ肩の荷が下りていくのを実感する日々です。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

今日、ご出席の坂本勝司会員よりR財団もしくは米山奨学に対し、今年度の大口の寄付を頂けるとのお申し出がありました。後日改めて皆さんにご報告させていただきます。坂本さんには衷心より感謝致しまして本日の挨拶と致します。

ありがとうございました。

2015-16年度(第30代)会長選考経過報告

23年9月26日に開催しました指名委員会において30代会長選出のための選考委員会を設置することを決定し、指名委員会委員を以って選考委員会とする事と致しました。

24年4月12日の選考委員会(指名委員会)で選考の結果、外山晴一会員を推薦しお願いすることになりました。

外山晴一会員からも快諾を得る事ができ、24年5月1日理事会へ報告し承認を受け、正式に皆さんにご報告させていただきます。30周年という節目の時であり、実質的に記念行事等の準備を図らなければいけないという事で、通常通りの選出スケジュールではとても日程的に余裕がない状態になるのではないかと懸念から、こうして異例ではありますが30代会長の選出をさせていただきます。

改めまして、30代会長に外山晴一会員、30周年実行委員長の山中正会員に、今後絶大なるご尽力をお願い致しまして、ここに皆さんにご報告申し上げます。

幹事報告：石川一昭幹事

- ・鈴木ガバナーエレクトより 地区経理規定一部改定について
- ・次年度杉山アシスタントガバナーより 第1回会長幹事会開催のご案内
日時 平成24年5月18日(金) 18:00～
会場 割烹 渡辺
- ・新潟県共同募金会三条支会より 委員会開催について
日時 平成24年5月28日(月) 午前11時～
会場 三条市総合福祉センター
- ・次年度(早川年度)の地区バッチを配布してあります。地区協議会、各種セミナー、ガバナー公式訪問、地区大会等で着用して頂きますので1年間なくさず着用して下さい。
- ・暑くなってきましたので次回例会よりクールビズと致します。



ロータリーの友紹介：丸山達夫 雑誌委員



横組みページの最初に“職業を語る”をテーマの座談会が載っています。なかなか高尚でハードなご議論です。ご用とお急ぎでない方はどうぞご一読を。なかなか時間がかかるとは思います。

縦組みのトップは“日米文化交流を支える相互の理解”です。非常に啓蒙されるころの大きい一文です。最初の章は日本開国時の不平等条約の改定を策した岩倉具視卿の使節団が、外交面で何ら得るところ無く帰国した事が書かれています

が、自分の得た利益、既得権は、たとえそれが火事場泥棒的なものであっても容易に手放さない彼の国の手強さが判ります。(例をあげれば当時幕府の無知により当初金と銀の対価が1:4に設定され、莫大な量の金が日本から流出した件。現代ならば基地における日米地位協定の治外法権的感覚がなかなか改定されぬとか・・・。いや閑話休題)

しかし筆者が美術館の学芸員でおられるため、日本から西洋への美術品のフローについて面白いお話が書かれています。コレクターの功罪については、色々な意見もあるのですが、廃仏毀釈などが平気で起こる我が国の気質、また高温多湿の気候で湿気や害虫で毀損されることが多い日本から管理のしっかりした海外の収集家に渡った品々は各々その処を得た形となり、それはそれで善かったのではないかと思います。たとえば大英博物館のエジプトや中近東コレクションについて、旧植民地から収奪したものだ、或いは占領地からの戦利品であるとか、なかなか大変な言われ方をされていますが先般のカイロの暴動の際の市民の博物館や美術館、公共施設への無法狼藉ぶりなど見聞きしますと、今になってはロンドンに持って行っておいて大変良かったような気がします。大体现地ではあれだけの数のピラミッドがあるのに、現存する埋蔵副葬品は同博物館に収納されている品々のみで、あとは皆、自国民の盗掘で雲散霧消してしまっている訳ですから。

その他いくつかのエピソードが載ってまして、お買い得、いやお読み得です。ご用とお急ぎの方もどうぞ。

次年度会長よりお願い

委員会の事業計画を委員長さんに配布しました。委員会で検討頂き6月5日(火)例会時まで事務局へ提出お願いします。ご質問等は私か坂内幹事に何でもお話し下さい。宜しくお願いします。



■ロータリ財団BOX：8日現在累計813,000円

*アークランドサカモト(株)様より30万円の法人寄付を頂きました

■米山奨学BOX：8日現在累計633,000円

*アークランドサカモト(株)様より30万円の法人寄付を頂きました。

石川 一昭君 6日スーパームーン7日レッドムーンと1年に1回大きな月をみました。良い事が起こるといいなあ？

石川 友意君 BOXに協力

佐藤 文夫君 ”

山本 賢君 米山奨学会にご協力ありがとうございます。後2ヶ月となりました更にご協力を



■ニコニコBOX：8日現在累計881,000円

早川 瀧雄君 渡辺会員の卓話楽しみです。
今井 克義君 BOXへ。配布バッジの漢字が読めません。意味と共にどなたか教えて下さい。
佐藤 弘志君 渡辺さんの卓話楽しみに！
石川 一昭君 渡辺会員の卓話楽しみにしていました。
柄沢 憲司君 〃
石川 友意君 新会員の卓話に感謝して!!
星野 義男君 渡辺さんの卓話に感謝して!!
丸山 勝君 BOXに協力
山中 正君 ご協力！
佐藤 文夫君 ノーコメント
高橋 彰雄君 〃
落合 益夫君 ニコニコボックスのご協力に感謝します。



本日の行事：「新会員卓話」



新会員の渡辺徹です。大先輩を前に大変緊張しておりますが、私がこれまで歩んできたことを振り返り、お話ししたいと思います。

私は建築の現場で使われる金属製のものさし、曲尺を作ることを生業とする家に生まれました。当時、渡辺度器製作所という工場が住まいと隣り合わせにありました。自宅の隣が工場だったのでいつも賑やかで、そこで働く方たちがかわいがってくれました。幼稚園へは事務所の女性が送り迎えをしてくれましたし、配達に乗ってあちこちへ連れて行ってくれたりしました。

「お前が跡継ぎのあんにか」などと色々な方にかまってもらいました。周囲のささやきもあり、小学校に上がるころにはなんとなく「自分は跡継ぎなんだ」と受け入れていたように思います。高校生のころには、家や父親とは関係なく、自分は自分でまったく別の道にと恰好を付けた頃もありましたが、大学に入るところには家業を意識して工学部に進んでいました。卒業後、NECの関連会社に入り、またその後8か月ほどオーストラリアで遊び半分過ごした後、父に呼ばれシンプ測定に入ることになりました。

入社する7～8年前から当社は、プリント配線板を製造する事業に参入していました。この事業を意識していた私は電子工学科へ進んだのですが、その事業がなかなかうまくいかず、少しずつ縮小させているころでした。当時の社長・私の父も私がプリント配線板の仕事を意識していたことを知っており、事業を完全に畳んでしまう前に、自分でその仕事の中に入って見て、再起を図るなり、撤退するなり考えてみたらいい、といった話でした。仕事内容もわからず、社会での経験も皆無の私に新しい再起の道など模索できるはずもなく、私は撤退に向けての仕事に就くことになりました。これが本当に辛かったです。プリント配線板はすべてオーダーメイドで、それぞれ製造するための設計データやフィルム・スクリーン版などがあるのですが、それをお返ししながら事業撤退のお詫びをして回りました。お客様は、返してもらった資料を別のメーカーへ持ち込んだからといって簡単には同じものができません。メーカーの設備が違えば、また違ったフィルムやデータが必要になるし、単価の問題だってあります。お世話になったお客様にこちらの事情で金銭的な問題も含め、様々な負担をおかけすることになりました。毎日、毎日トラブルやお叱りを受け続けました。それでも先に明るい希望があればまた違っていただいのですが、撤退ですからどうにもなりません。逃げ出したいという日々が1年半ほど続き、何とか区切りを付け、三条の本社勤務となりました。

当時本社には中国・上海出身で中国・日本の両大学を卒業し、縁あって当社で働くことになった男性がおり、実家で同居しながら会社へ通っていました。その彼を中心に中国・大連市に工場を作る計画が進んでおり、工場建物の工事が半ばを過ぎた頃でした。私の本社での仕事は直接それに関わる内容ではなかったのですが、8月のお盆休みに、日本から交代で出張している社員に休暇を取らせるために、2週間の予定で大連での留守番役で初めて大連に行くことになりました。この2週間の留守番役が、その後を大きく変えることになりました。先にお話しした中国人社員が突然会社を辞めると言い出しました。社長であった父は、熱心に慰留を試みましたが叶わず、彼は会社を去っていきました。大連工場の設立はすべて彼が中心になって進められており、設立後の総経理（現地法人の社長）には当然彼が着くものと誰もが思っていました。当社にとって初め

での海外展開であり、言葉も通じない、文化習慣も異なる国での突然の出来事に呆然としました。しかし、工場建築は進んでおり、引き返すことなどできません。では、誰が現地にとどまって運営していくのか、という問題になります。まさか、と思いましたが現地のスタッフはじめ本社の社員も私を指さすのです。何の経験もないまだ26歳足らずの青二才の私、そんな事できる訳がない、あり得ない、と思いましたが下されたジャッジは私でした。囚われた囚人のような気分です。今考えれば、あの場面で断れない・逃げ出せない状況にいたのは、私だけで、そういう排除法から指をさされたのだと思います。

当時の中国は現在とは全く違った環境でした。私にとっての中国初日は、飛行機が5～6時間も遅れ、真夜中の真っ暗な空港に到着。外は土砂降りの雨で、所々冠水していました。乗用車では無理だということで、トラックで出迎えてくれました。朝起きれば宿の前の道路は腰までの水。現地社員が私をおぶっての出社でした。インフラがひどいだけではありません。何度も腹痛でのたうち回り、病院にも担ぎ込まれました。当時の大連は日本人にとっては厳しく、誰もが一刻も早く日本に帰りたと思っていたことでしょう。2週間の予定で行ったわけですが、結果的にその後2年間赴任することになりました。

現地ではとにかく物事が思うように進みませんでした。なかなか工場に電気を通してもらえない、水道も通らない、税関で荷物は止められ、市政府の許認可も進まない、といった状態です。中国風に袖の下を握らせれば解決したことも多いのですが、それはしませんでした。困り果てたある日、金品を渡しはしませんでした。電力会社の担当者を夕食・カラオケに連れて行ったことがありました。その担当者は翌朝一番に来社し、電気を通してくれました。思うように設備が輸入できず、することのない日が続いたこともありました。現地の大学を卒業し日本での研修も終え、花形の日本企業に就職したエリート意識たっぷりの幹部候補たちは、機械が届かずに床や階段のペンキ塗りを繰り返す日々に耐えられず、辞めていくものもいました。それでも、中には日本の企業が中国で、日本らしい考え方で工場を運営することに理解をしてくれる社員もいて、2年たったころにはJIS工場にもなり、それなりに稼働できる状況にはなりました。物事の考え方の違いや、文化習慣の違いからくる山のようなトラブルに押しつぶされ続けた2年間でした。

ようやく中国から戻り、2年ぶりの本社勤務につきました。大連工場とは違い、本社では経験豊富な役員・幹部がいます。大連工場の頃から見たら、穏やかに仕事をしていました。日本に戻って一年ほどが経った29歳のある日、父に呼ばれました。父は突然、「社長を交代する」と言い出しました。耳を疑いました、冗談でしょうと。大連工場の立ち上げとは話の次元が違います。わずかな大連での経験がある程度で、特に本社では右も左もわからない私に何ができるというのでしょうか。父曰く、「自分も父親が早く病気になったために、若いころから実質的に社長業をやってきて、いい経験をした、だからお前も早く」と。言い出したら曲げない人ですが、それでも随分抵抗したように思います。いずれそのタイミングが来れば、とは思っていましたがあと10年、いや5年でもと。結局聞き入れてもらえず、私は渋々受け入れざるを得ませんでした。全く自信もなく不安でしたし、周囲も頼りない私を同じように感じていたと思います。全社員を前に社長交代を告げた時は、足がガタガタと震えていました。

社長交代のその日から、会長になった父は会社には来なくなりませんでした。会議にも出ません。現有の幹部たちと全てのことを決めて行けと。困り果てて相談に行っても、「知らん、自分で考えろ」の一言でした。当初会社に行くのが辛く、「お前のような何も知らんボンボンが何で社長なんだ、何にもできないくせに」という声が方々から聞こえてくる気がしてたまりませんでした。役員幹部はそのままだったので、これまでの流れを踏襲する分には頼りになりました。ただし、何か別のことをしようとするときには、親子ほどの年の差の役員に対して、随分気を遣わなくてはなりません。なかなか思い通りにならないこともありました。これをやりたいと思ってもなかなかその方向へ進めない苦しみが続きました。古参の社員と罵倒しあうようなことは一切ありませんが、何かを変えろということそれはそれまで彼らのしてきたことを一部否定することにもなってしまいます。そういう意味で神経をすり減らす事になってしまいます。このころから、それまでの役員に少しづつ一線を外れてもらう人事を進めていき、次世代の登用を図っていきました。大連での何もないところからも大変でしたが、出来上がったものというのは、特に人事において大変な苦心を強いられました。

私は生来なまけものだと思います。楽な方へ、穏やかな方へと進んでいくのですが、プリント基板、大連工場、30歳での社長交代と、何度もいばらの道へ突き落とされました。決して計画的なことではなく、行き当たりばったりなのですが、行き着くのはそんな道ばかりでした。ただ、

20年ほどが経過してみて今になって思えば、随分と他の人にはできない、いい経験をしてきたと思えます。その渦中では感じませんでしたが、30年かかるところを10年に凝縮してびっしりと体験してきたと思えるようになりました。どうってことのない私が、たまたま色んな経験を積むことができ、どうにか生きていられるのは凝縮された10年が大きな源になっていると思っています。

若い世代には、皆、それぞれに開花させていないすごい力を内に秘めていると思っています。先輩方にはその力を期待して、早い時期に挑戦させ、或いはせざるを得ない状況に追い込んでほしいと思います。政治の世界でも、経済の世界でも、我々の町でも、もっともっと若い世代が前面に出ていくことで、失った日本の活力を取り戻せるのではないのでしょうか。

私もこれまでの経験を踏まえて、どれだけ先になるかわかりませんが、できるだけ早くバトンを渡したいと思っています。

質問にお答えして

2012-13年度第2560地区バッチ

- ◆地区テーマ「怒の心を以て・奉仕を通じて平和を」
怒(じょ)：すべてを超えた慈しみ(如来の如き心)
- ◆火焰土器：日本人が縄文の太古から育んできた「自然との共生」や「互いを思いやり助け合ってきた」誇るべき日本文化を蘇らせた。そのためのシンボルを火焰土器としました。新潟県は「火焰土器のクニ」とも言われています。
- ◆不死鳥(フェニックス)：いかなる困難にもめげず「未来に向け、力強く凜として前向きに」進んでゆきたいという思いを込めました。



ゴルフ同好会・野球部ともに 活動開始です。

☆ゴルフ同好会

地区大会記念チャリティーコンペ

(4月13日) 8名参加

団体戦 16位 (31クラブ参加)

個人戦 38位 丸山 勝

(250名参加)

第1回コンペ (4月26日)

優勝：石川 一昭 準優勝：岡田 大介



☆野球部

4/21から練習を開始 4/28の試合は惜敗しましたが、
6月迄の練習日程も決まり本格始動です。

練習予定：5/13(日)・5/27(日) 6/16(土) 6/24(日) 6:00~9:00

試合：6/2(土) 13:00~16:00・6/24(日) 15:00~18:00

「つぶやき」

山上 茂夫

私がロータリークラブに入会した動機に私の勉学コンプレックスがあったので、勉学する青少年を応援したいという思いが強く、ロータリー財団への寄付を続けて来ました。

幸い私はギャンブルはしませんし、今は煙草も酒もやめています。なにが楽しい人生か？と問われれば少しでも自分の知識や人間性で特に精神性で今日より明日、明日より明後日の向上を喜びたいと思って居ます。ワイフも私を「我慢の人だ」と評しますが私は我慢をすると云う意識は全くありません。お酒や煙草をやめるのは、自分が飲まない、喫わない、と決めれば直ちにやめられるので、飲みたいけど、喫いたいけどと云うストレスは感じません。自分が自分に暗示をかけているのかもしれませんが。今まで頭が痛い、歯が痛いなど感じた事はなく、痛みのもとを誰かが遮断して呉れるのかなあ位にしか考えていません。

食事も美味しい、まずいで食べているのでは無く、営みとして食すので全てそれぞれの食感、食材の持つ味を味わい乍ら食べているので幸せです。

さて其の財団への寄付は何時の間にやらワイフ名でも1回寄付しましたが、世界大会や外国のロータリークラブにメイクアップする時ワイフの紹介では特に歓迎された様でした。

またその分、私のことも紳士扱いされるので良かったと思います。皆さんもレディーファーストで如何ですか？

ロータリーは勉強の場だとも云われています。人生死ぬまで勉強でその勉強が楽しいので私は幸せです。人それぞれ楽しみ方や勉強の方法が違っててもロータリーから学ぶことが多いですよ！

お互い仲良くロータリーとつき合っていきましょう。